

自然環境保護・ 保全事業

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継いでいくために、「九重ふるさと自然学校」を拠点に活動すると共に、さまざまな団体とパートナーシップを組み、自然環境の保護・保全活動を推進しています。

九重ふるさと自然学校

セブン・イレブン記念財団が大分県九重町で運営する九重ふるさと自然学校の「生きものも育む自然共生型田んぼづくり(田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト)」が、国連生物多様性の10年日本委員会の連携事業に認定されました。

今年度は新たに、大分県と連携し、生物多様性の大切さを伝える環境教育活動を実施しました。また、鹿児島県錦江湾で小学生を対象としたキャンプや「野生動物を探しに行こう」など、自然や里のくらしに触れるプログラムを多数実施しました。



自然共生型田んぼづくり
(田植え)



野生動物を探しに行こう

高尾の森自然学校

東京都との協働事業として、東京都八王子市川町(高尾駅よりバス14分)の約26.5haの緑豊かな都有地に「高尾の森自然学校」を2015年4月に開校します。6月27日都庁にて、舛添都知事と山本理事長が、「民間主体との協働による緑地保全モデル事業に関する協定」を締結しました。



都庁にて調印式

自然遺産保護・保全活動

霧多布湿原保全活動

北海道の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、霧多布湿原の民有地などを取得し、保全していくナショナルトラスト活動を行っています。2014年度に取得した湿地は約27.3ha、累計で約440haとなりました。



霧多布湿原はラムサール条約登録湿地
撮影：ノーザンビレッジ 北村康春

東京湾再生官民連携フォーラムと東京湾大感謝祭

官民が一体となって東京湾の再生に取り組む「東京湾再生官民連携フォーラム」の運営を支援しています。

10月25日・26日に開催した「東京湾大感謝祭」に、全国環境ボランティアリーダー会と共同で出展しました。



東京湾大感謝祭

グリーンウェイブ2014

「グリーンウェイブ」は、国連の生物多様性条約事務局の呼びかけによる植樹活動です。当財団は、広報活動と苗木の提供に協力し、40団体に707本の苗木を提供しました。



グリーンウェイブの植樹活動

日光杉並木保護活動

栃木県の「日光杉並木街道」は、日本で唯一の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けている貴重な文化財です。年間平均30本の杉が枯れるなど、危機的な状態にある杉並木を保全するために、生育の妨げとなっている雑木の伐採などの樹勢回復事業を支援しました。



樹齢380年を超える日光杉並木街道